

スキャニングサービス (紙文書電子化)

事例
紹介

●M&Aによる紙文書電子化

弊社のスキャニングサービス受注事例で、M&Aに由来する事例が出てきています。

事業拡大、新規事業参入にM&Aを活用する会社が増え、また後継者不在等の理由などから企業のM&Aが増えているからです。

M&Aの際の電子化ニーズ

- 1) 統合による事務所・工場のスペース削減
- 2) 統合される企業の技術・ノウハウをスムーズに移転させるために紙文書を電子化
- 3) 電子化してデータを共有化（コミュニケーションの円滑化）



株式会社 宏 和

東大阪市長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<https://www.d-kowa.co.jp/>

Kowa Corporation

<https://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務 紙文書・紙図面スキャニング(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャニング、WEB制作

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報を届けします。

コウワ/ケ
MONTHLY NEWS LETTER Vol.42

CO/WA/KE
3 Vol.42

発行者：株式会社宏和
所在地：〒557-0012 東大阪市長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和

先日、定年後嘱託として働かれているお客様との会話の中で、「趣味もないし65歳になって完全に定年になったら何をしようか」という話になりました。一方で、今後の人手不足の状況を考えると、近い将来、定年70歳時代がやってくるのは確実なようです。特に「これをしてみたい」という事がない場合、自分のペースで長く働き続けることは、社会との繋がりを維持でき、幸せな事なのかもしれません。

代表取締役 日笠宏昭

OCAT(大阪シティエアターミナル) の現状

今月は、用事がなければあまり行くことがない場所、JR難波駅にもなっている複合商業施設、OCAT(オーキャット)の特集です。

開業～2007年頃

OCAT(大阪シティエアターミナル)は、その名前のとおり、関西国際空港へのアクセスを充実させるため、JR難波駅の再開発計画の一環として1996年に開業しました。経営は、大阪市が出資する第3セクターの「湊町開発センター」、場所は大阪メトロ四ツ橋線のなんば駅からすぐ西側、千日前通りに面した所です。(向かいはLIVEホール「なんば Hatch」がある「湊町リバープレイス」です。)開業当初は、関空出発便の搭乗手続きもここで行われており、関空快速も運行されていました。ところが、利用客が低迷、搭乗手続きも関空快速も廃止となり、テナントも撤退するという悪循環で累積赤字も積み上がって、苦しい状況が続きました。

2008年頃～現在

阪神高速湊町出入口からすぐという好立地で2階のバスターミナルを発着とするバス会社が増加、空港バス以外に、全国各地へ高速バスが運行しています。また、人口の都心回帰の流れで、OCAT南側にマンションが林立、2009年に隣接地に竣工したマルイト難波ビルには、ジュンク堂書店、スーパーのライフ、ホームセンターのダイキ、ホテルモントレがあり、人通りが増加、商業施設の空きもほとんどありません。関空へのアクセスの充実という当初の目的とは異なってしまったようですが、現在は順調に経営されているようです。

施設案内

RF 4月～10月の間開園する屋上庭園
6F オフィス
5F レストラン
4F 市立学習センター&オフィス
3F 酒 輸入食品 文化 &サービス
2F バスターミナル
1F ファッション 雑貨 郵便局
B1F JR難波駅 カフェ レストラン コンビニ ドラッグストア

B1F ポンテ広場

なんばウォークとJR難波駅との連絡口にある吹き抜けの広場

壁面に大きな鏡があり、ストリートダンスの練習をする若者が絶えません

表紙の撮影場所 滋賀県甲賀市甲南町

